

学際生命科学東京コンソーシアム ～代表引継にあたって～

さらなる事業の発展と、社会の間で望ましい知の循環を実現していきましょう

東京医科歯科大学の大山学長のあとを引き継いで、2011年1月から代表を務めさせていただきますことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

優れた高等教育を受けた将来を担う人材は、資源の少ない我が国が、グローバル化時代に対応しながら持続的に成長発展を遂げるための国力の源泉であるといえます。その意味で、大学の果たすべき役割は大きく、国民の負託に応える努力をしなければなりません。それには、複数の大学が協力して、それぞれが得意とする学問領域において補完的に貢献し合うことが効果的です。

とくに前世紀から急速に発展した生命科学は、今世紀さらに関係領域を包み込みながら新たな学際領域や産業を生み出す核となっており、社会的な重要性が増しています。そこで、この分野での教育の充実と研究の推進を基本理念に据えて、2009年春に、東京医科歯科大学、お茶の水女子大学、学習院大学、北里大学が連携して、学際生命科学「東京コンソーシアム」を設立し、活動を開始しました。そこでは、東京にある4大学を核とした教育研究機関、企業、行政機関を有機的に結んだ地域拠点の形成を目指しています。

具体的には、これまで主に以下のような活動が行われてきました。教育高度化事業としては、大学院博士前期課程における生命科学領域と学際領域科目について、各大学の特色を活かした補完的な科目構成からなる共通カリキュラムを開発し、それに沿った科目が2010年度から開講しました。また、より公正な学位指導と審査体制の構築をめざして、複数指導体制の強化、中間評価の実施、外部審査委員の積極的活用の3項目を中心とした審査体制が整いましたし、学生支援・国際化推進事業として、4大学共同での就職説明会の実施やインターンシップの科目認定、単位化なども進みました。さらに、産学地域連携事業としては、4大学、海外大学、および一般企業で連携して、「ライフサイエンス分野知財評価人材養成プログラム」講義を開講しました。その他にも、「いのち」をテーマにした市民講演会を定期的実施したり、中高生への理科教育支援も行ってきました。

今年もこれら事業をさらに発展させてゆくとともに、本コンソーシアムに関わる大学院生や企業、社会人の皆様のご意見を参考にさせていただくことによって、社会との間で望ましい知の循環を実現して、男女共同参画社会の実現やキャリア支援などの社会的使命をも果たしてゆきたいと思っております。今度ともご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



お茶の水女子大学 学長
羽入 佐和子

2011年1月

国立大学法人 お茶の水女子大学 学長
羽入 佐和子

● 第4回市民講演会を開催しました

産学地域連携部会では「第4回市民講演会」を平成22年10月23日に北里大学にて開催しました。今回の特別講演としてアステラス製薬株式会社の竹中 登一代表取締役会長をお迎えして、「かけがえのない「いのち」を育む科学」をテーマに、学習院大学：芳賀 達也教授、お茶の水女子大学：室伏 きみ子教授、東京医科歯科大学：村松 正明教授、北里大学：花輪 壽彦教授が講演しました。今回は近隣の皆様だけでなく、学生の皆様も多く参加していただき、動画やテレビ画像での内容に、時には笑い、時には真剣なまなざしで耳を傾けている様子でした。当日の様子やアンケート結果はホームページ

(<http://gks.tmd.ac.jp/jpn/collaboration/lecture.html>)

に掲載しておりますので、ぜひご覧下さい。



特別講演：アステラス製薬株式会社
竹中 登一代表取締役会長

インターンシップと特別研修をふりかえって

学生支援部会では、インターンシップや特別研修に参加した学生の皆様からアンケートを実施して、良かった点と困った点を纏めました。

参加して良かった点は、①**社会で働くことを知る**ことや②**自分を見つめなおす**こと、③**研究職以外の理系の知識を必要とする職がある**こと、④**職種に関係なく企業を選ぶという方法を学んだ**ことがありました。また、特別研修で体験したグループワークが好評で、様々な視点の意見を聞くことができ、またコミュニケーションのとり方がわかるようになったという意見がありました。

困ったこととしては、①**大学の授業や研究との両立が難しかった**こと、②**履修手続き～報告書作成までの流れがわかりにくい**こと、③**インターンシップの日程や参加する人の情報がほとんどなかった**ことがありました。

インターンシップや特別研修に参加することは、様々な企業で社会経験ができる貴重な体験です。企業様より今後も継続して開催していただくことになりましたので、ホームページの情報を確認して企業説明会にご参加下さい。また報告いただいた内、困った点について運営に関するものは改善していく予定です。ご協力をいただきました企業様、参加していただいた学生の皆様には引き続きご協力いただきますよう、よろしくお願い致します。

※インターンシップと特別研修に参加していただいた方の感想を右に紹介します。ご参考下さい。

■インターンシップと特別研修を通じて学んだこと

学習院大学大学院・M1 照沼 淳子さん

自分の進路について考え始めた修士1年の夏、私は将来の方向性を決めかねていました。そして、「企業へ勤める」ことを体験するために、医学書出版社でのインターンシップ(約2週間)と製薬会社での特別研修(3日間)に参加させて頂きました。

インターンシップでは、企業の目的や理念などを詳しく教えて頂き、また出版社の様々な仕事も体験させて頂きました。中でも印象深く感じたのは、営業の方に同行し初めて交渉の場を見た際、「皆が作った本はヒトの手に渡らなければ意味がない。それを担うのが営業」という営業の方の御言葉です。会社での仕事は分業がきちんとされており、その中で社員全員がひとつの目標を目指して成すものであるということを学びました。

特別研修では、「創薬」の全貌を丁寧に教えて頂きました。創薬活動とは病気の予防および治療のことを考えるだけに留まらず、出来る限り患者様の立場に立って患者様が本当に求めているものは何かという、顧客視点を養うことで深みを増すことを学びました。それは創薬に限らず、人が誰かを思い行動すること全てに言えることだと思いました。

理系出身者の就職は「理系職」や「技術職」といった枠に留まらず、選択肢は無限にあることに気づきました。また、今回の経験を通じて、自分の「職への思い」や「理想の社会人像」を考えるきっかけとなりました。このことを糧に、これから始まる就職活動を頑張っていきたいと思います。

お知らせ

●文京区国際交流フェスタ2011に参加しましょう

文京区が主催しております、「国際交流フェスタ」に学際生命科学東京コンソーシアムも参加することとなりました。4大学の国際交流活動について講演します。生薬などの話題もあります。また、講演以外の時間には大学院で学ぶ留学生と交流する時間もありますので、ぜひお越し下さい。

日時：平成23年2月19日(土) 10:00～16:00

会場：文京シビックセンター

(東京メトロ丸の内線・南北線 / 後樂園駅徒歩1分
都営地下鉄三田線・大江戸線 / 春日駅徒歩1分
JR 総武線 / 水道橋駅徒歩8分)

プログラム：

- 10:30～11:00 中国からの留学生の受け入れ状況と、生薬に関する話題提供(北里大学)
- 11:00～11:30 国立シンガポール大学との国際交流活動の紹介(学習院大学)
- 14:30～15:15 タイ、ガーナ、チリなどとの交流内容を紹介(東京医科歯科大学)
- 15:15～16:00 タイからの留学生の受け入れ状況と、バンコクオフィスを通じた国際交流活動の紹介(お茶の水女子大学)

※留学生との交流時間は13:30～14:30を予定しております。

●市民公開講座のお知らせ 最先端生命科学講座シリーズ 第1回開催

東京医科歯科大学難治疾患研究所にて研究している最先端医療を、市民の皆様に分かりやすく紹介します。

今回は、「免疫感染症と再生医療の最新トピック」の紹介を2人の講師が担当します。皆様ぜひご聴講下さい。

詳細はURL：<http://www.tmd.ac.jp/mri/> をご覧下さい。

日時：平成23年2月25日(金) 19:00～21:00

会場：文京シビックセンター 5階 会議室C

(東京メトロ丸の内線・南北線 / 後樂園駅徒歩1分
都営地下鉄三田線・大江戸線 / 春日駅徒歩1分
JR 総武線 / 水道橋駅徒歩8分)

プログラム：

『再生医療と最先端の生物学』

幸田 尚 准教授(東京医科歯科大学・難治疾患研究所)

『インフルエンザってそんなに怖い?・香港風邪・スペイン風邪・新型・鳥…』

清水 則夫 准教授(東京医科歯科大学・難治疾患研究所)

●ニュースレターの電子配布希望者募集!

本コンソーシアムの活動内容を記載しているニュースレターを電子配布でも行います。希望者の方は、**お名前、メールアドレス(携帯電話のメールは不可)**を①メールアドレス：gakusai.ict@mri.tmd.ac.jp、②FAX：03-5803-0353、③TEL：03-5803-4937のいずれかの方法にて事務局までお知らせ下さい。